

■ 特集 ■

熊野古道の参詣道環境保全活動

道普請ウォーク

わが街 わが店 わが取り組み

支店活動レポート

社会的責任(CSR)を果たすための 紀陽フィナンシャルグループの取り組み

地域金融機関として地域社会やそこに住む人々に、もっと貢献したい。それは普段の業務の中で提供できるものはもちろん、通常の業務以外でも、きっとたくさんあるはずだと、私たち紀陽フィナンシャルグループは考えています。

当グループでは「お客さま」「地域社会」「株主さま」「従業員」に対して様々な活動を行っています。

地域の人々と関わり、地域の環境を豊かにするために地域金融機関としてどのような社会的責任を果たしていくかを定め、ひとつひとつの課題に取り組んでいます。

※CSR=Corporate Social Responsibility(企業の社会的責任)

CSR活動の方針	取り組み課題	2013年の各種取り組み施策
P6▶8  お客さまに やさしいサービスを 提供する	ご相談窓口の拡充	お城の前の相談室／ハートフルプラザ／年金相談会、資産運用セミナーの実施／ 資産運用アドバイザーの配置 など
	役立つ情報の発信	ハローサービスセンター／紀陽ビジネスクラブ など
	地域ビジネスのサポート	公的支援活用の推進／海外ビジネス支援／人材確保支援／事業承継支援／ 経営相談／販路拡大支援／産学連携の推進 など
	お客さま満足の向上	〈キヨー〉ふれあい倶楽部／インターネット投資信託／CS向上施策／ バリアフリー化への取り組み／ネットワークの拡充／ATMサービスの充実 など
	安心できるお取引きの推進	ユニバーサルサービスの推進／紀陽ONE da FULL カード／振り込み詐欺防止 など
P9▶16  地域社会の 持続的発展を お手伝いする	地域密着型金融の推進	公的支援活用の推進や海外ビジネス支援、経営相談など、地域企業に適した サポート体制により、地域密着型金融の推進に取り組んでいます。
	文化や芸術活動への貢献	紀陽コンサートの開催、美術館・博物館への無料招待(紀陽文化財団) など
	金融教育の実施	小学生向けイベントの実施／金融教育「マネーコネクション®」の実施／ 高専・大学での講義／インターンシップの受け入れ／職場見学の受け入れ など
	環境保全への取り組み	熊野古道の道普請活動／企業の森事業／環境保全業界団体への参画／ 環境に配慮した営業(店舗設計・エコ販促品の利用)／ ESCO事業の推進／環境関連金融商品の取扱い など
	地域貢献活動の推進	就職機会の創出／「大人大学」の開講／スポーツを通じたCSR活動／各種大会 への協賛・地域行事への参加／「小さな親切」運動／AEDの設置 など
P17  株主さまに 信頼される経営を 実行する	経営における透明性の確保	web、冊子等での情報開示の充実／各種IR説明会の実施 など
	堅実な経営の継続	安定配当の実施 など
	経営態勢の整備	コンプライアンスの遵守 など
P18  従業員が 働きやすい環境を 整備する	人材育成の強化	新入行員研修／階層別研修／職務別研修／ OJTの取り組み強化／自己啓発サポート など
	モチベーション 向上施策の実施	信託型従業員持株インセンティブ・プランの導入 など
	働きやすい職場づくり	配偶者出産休暇制度／半日休暇制度／メンタルヘルスケア体制の強化／ セクシャルハラスメントの排除 など



紀陽フィナンシャルグループ行動憲章

1. 公共的使命
2. 法令やルールの厳格な遵守
3. 質の高い金融サービスの提供
4. 社会とのコミュニケーションの推進
5. 従業員の人權の尊重等
6. 環境問題への取り組み
7. 社会貢献活動への取り組み
8. 反社会的勢力との対決

紀陽フィナンシャル グループの誓い

- お客さまへの誓い
- 株主への誓い
- 地域社会への誓い

世界遺産を歩き、
自らの手で修復に携わることで
和歌山の貴重な自然・文化を
もっと身近に感じてほしい。



「道普請

未来へと続く希望の道として
伝えていきたいと考えています。

ウォーク

古来より阿弥陀信仰の聖地として信仰を集めた熊野。平安時代には後鳥羽上皇や白河上皇など天皇家や貴族が京の都から参り、室町以降は武士や庶民が「蟻の熊野詣」といわれるほど大挙して訪れたといわれています。

京から熊野本宮へと至る参詣道「熊野古道」、吉野へ至る「大峯奥駈道」、高野山へと至る「高野山町石道」の3つの道は、それぞれ熊野三山と吉野・大峯、高野山の3つの霊場とあわせて、「紀伊山地の霊場と参詣道」として平成16年に世界遺産登録され、来年は登録からちょうど10周年を迎えます。

この世界遺産は、寺社などの建造物のように宮大工など専門技術の必要な職人にしか修復できないわけではなく、一般の人でも修復に携わることができる世界でも珍しいタイプです。

そこで今回、紀陽銀行ではCSR活動の一環としてはもちろん、和歌山県に本社を置く地元の金融機関として、またふだんより地域貢献活動や地域活性化のお手伝いをさせていただいている企業として、昨年の12月1日に県が実施した世界遺産保全活動「道普請ウォーク」に参加いたしました。

和歌山県が誇る世界遺産・熊野古道の価値を、次世代にしっかりと伝えていくために、県の世界遺産センター職員の立ち会いのもと中辺路の「道普請(土の補修作業)」についてご紹介します。

出発



出発地点の式水広場では、和歌山県の職員や世界遺産センターの方のご挨拶のあと、職員の方に道普請のやり方をレクチャーしていただいたり注意点を伺いました。

「道普請」活動レポート

2012.12.1

熊野古道ウォーキング



みんなが落とした土は「タコ」と呼ばれる専用の道具でならしていきます。



この行程をひとりだいたい4、5往復ずつして終了となります。



道普請の作業が終わったら、帰りは本宮まで古道ウォークを楽しみます。



熊野本宮に到着。閉会の挨拶で今日の行程はすべて終了。みなさん、お疲れさまでした!



展望台にちょっと寄り道。見事な絶景を前にすると道普請の作業やウォーキングの疲れも、いっぺんに吹っ飛んでしまいました。



ここでランチタイム。「古道弁当」は古代米のおにぎりや山菜など、熊野古道でのお昼ごはんにふさわしい、情緒たっぷりでもとてもおいしいお弁当でした。

Voice of Kiyo Friends

～熊野古道の参詣道環境保全活動「道普請」を終えて～



山口 敏行さん (公務営業室)

世界遺産を自分の手で保全する貴重な体験ができてほんとうによかったと思います。

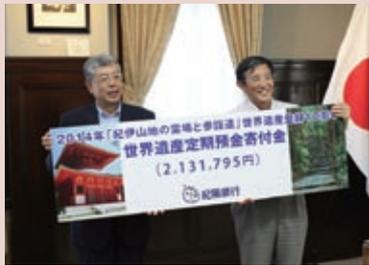
「道普請」という言葉はじつは恥ずかしながら知りませんでした。これまでボランティア活動にはあまり参加したことがなかったので今回こうして参加できてほんとうによかったです。なにより世界遺産を自分の手で保全するという貴重な体験ができたこと、それに関わることができたことがうれしかったですね。見た目の印象で最初は「楽にできるかな」と思っていたのですが実際やってみるとなかなか大変でしたね。もし今後も開催されるのであれば、ぜひ次回も参加したいと思います。

「私たちも世界遺産サポーター！」

一人ひとりの思いを、明日を支える大きなチカラに。
「世界遺産定期預金」が
募集総額の200億円に達しました。



世界に誇る和歌山の財産を、みんなの手で守りたいから。平成26年7月に世界遺産登録10周年を迎える「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全活動をサポートするため、お客さまにお預入れいただいた金額の0.01%相当額を和歌山県世界遺産協議会に寄付させていただく「世界遺産定期預金」。地域を愛する皆さまにご好評いただき、おかげさまでこのたび募集総額である200億円に達しました。こう



した活動を通して、少しでも自然環境や観光資源の保全に貢献し、地元に愛される金融機関であり続けたいと考えています。

道普請スタート



まずは6つの班に分かれてチームで作業を進めています。さあ、みんなファイ！土置き場に用意された土はぜんぶで2トン。この土を一人ずつ袋につめていきます。



重い土を持つ坂道は危険。セラピストの指導のもとしゅうぶんストレッチをしてから、いよいよ作業スタートです！



袋に入れる土はだいたい一回で4、5kgほど。急な坂道となるとこれがけっこうキツイ！



指示されたポイントに来ると係の方の指導を受け土を落とします。あー、重かった！

Voice of Kiyo Friends

～熊野古道の参詣道環境保全活動「道普請」を終えて～



内芝 豊美さん／中田 千尋さん
(白浜支店)

白浜支店のみんなでワイワイ参加して
仲良く笑顔でボランティア活動を楽しみました！

白浜支店は、観光シーズンには観光客や外国人のお客さまも多く夏はアロハシャツを着てお店に出ています。今回もみんなでワイワイ参加しようと思ってきました。そもそも今まで熊野古道に来たことがなかったので、支店のほうで募集されてるのを見て興味を持ちました。また企業の森活動を含め、これまでこうした活動に参加したことがなかったので、とても楽しみにしていました。実際やってみた印象としては、はじめ2トンの土を見て大変そうだなと感じましたが、実際やってみると思ったほどでもなかったですよ。



藤原 智佳さん／田中 万紀子さん
(朝来支店)

今回のプロジェクトに自分も携われたことで
もっといろんな活動に参加したいと思うようになりました。

この「道普請ウォーク」に参加した経緯は、じつはこういうボランティア活動があるんで参加してほしいという呼びかけがあったから。要するに最初はそれほど積極的に参加したいと思って来たわけではありませんでした。でも今回、実際に参加してみて、すごく楽しかったんです。もちろん作業はハードでしんどかったのですが、充実感があって、このプロジェクトに自分も携われてよかったなと今は思っています。もちろん、次回また開催されるならぜひとも参加したいです。

Voice of Kiyo Friends

～熊野古道の参詣道環境保全活動「道普請」を終えて～



栗原 崇さん／小倉 正人さん
竹原 かおりさん／仲井 綾美さん
岡 哲朗さん／榎本 大輔さん
(本宮支店)

今回の活動が行われた地元の支店として 誰より強い責任感と高い志を抱えもって参加しました。

われわれは何といてもここ地元・本宮支店ですから、やはりこの世界遺産である道をよりよくして和歌山県の観光PRのお役に立ちたいという思いは強くありました。しかも平成23年のあの台風でわれわれの店も水に浸かったりして大変でしたし、ここもその影響があったと聞き、なんとか貢献したいと考えていました。それにじつは本宮で働いているわりに、これまで熊野古道を歩いたことがなかったので、今回古道を歩ききっかけになりました。そういう意味でも参加できたことは非常によかったです。来年もぜひやってほしいですね。

「道普請」という言葉はあまり耳馴染みがないかもしれません。じつはこの言葉は昔からこの辺では自分たちの生活道路を草刈りとか溝掃除したりするときなどに地区の人が使っている言葉。また「普請」という言葉には単に「作業」とか「工事」とかの意味だけではなく「たくさんの人に呼び掛けて力やお金を出し合って作業する」という意味が含まれているのだといいます。



世界遺産に登録されている「紀伊山地の霊場と参詣道」は、和歌山県の人すべての財産でもあります。それらをみんなの力を合わせて守り、次世代に受け継いでいく。紀陽フィナンシャルグループがCSR活動の一環として参加したその思いは、まさに「普請」の意味するところに通じるのではないのでしょうか。これからも、私たちは和歌山の自然や文化の継承・保全にグループ一丸となって取り組んでいきたいと考えています。



世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」とは

「紀伊山地は、神話の時代から神々が鎮まる特別な地域と考えられ、山岳修行の舞台となっていきました。そして、それぞれの起源や内容を異にする「吉野・大峯」、「熊野三山」、「高野山」の三つの「山岳霊場」とそこに至る「参詣道」が生まれ、都をはじめ全国から人々が訪れるようになります。その結果、日本の宗教・文化の発展と交流に大きな影響を及ぼすこととなりました。『紀伊山地の霊場と参詣道』は、三重、奈良、和歌山の三県にまたがる「紀伊山地の自然」がなければ成立しなかった「山岳霊場」と「参詣道」、及び周囲を取り巻く「文化的景観」が主役という、数ある世界遺産のなかでも類を見ないものとして非常に高い価値が認められています。

【霊場】吉野・大峯／熊野三山／高野山

【参詣道】大峯奥駈道／熊野参詣道／高野山町石道

【文化的景観】山、森、川、滝、温泉、田園、町並など





お客さまとの
つながりを深める
取り組み



上本町支店 平成25年9月17日移転オープン
大阪市天王寺区東高津町11番9号 上本町ビル1階

八戸ノ里支店 平成25年10月10日オープン
東大阪市下小阪2丁目14番16号 天正八戸ノ里ビル1階

サービス態勢のさらなる拡充

店舗の拡張や新店舗のオープンにより、
便利で身近なサービスに努めています。

あなたの街で、もっと身近に。平成25年9月、紀陽銀行は「大阪東支店を近鉄大阪線上本町駅前に移転。上本町支店」に改称しました。これまで事業性のお取引に特化してきた店舗を、さらに個人のお客さまにもより便利にご利用いただけるよう、店舗の拡張や全自動

私たちはお客さまとの「コミュニケーション」を大切にします。

お客さまとの約束

貸金庫等のサービスを拡充した「一般店舗」として新たにオープンいたしました。

また10月には近鉄奈良線八戸ノ里駅前に新たに「八戸ノ里支店」を新設。東大阪市の店舗としては東大阪支店、鴻池新田支店につづく3カ店目、大阪府内では37カ店目となり、ますます便利で身近な紀陽銀行になります。

利便性の向上

ATM手数料キャッシュバック
など使いやすさを重視した
サービスの提供に努めています。

暮らしに身近なサービスだから。
紀陽銀行では従来よりATMサービス



の拡充に努めてまいりましたが、このたび南海、阪急、阪神、北大阪急行の各私鉄と神戸市営地下鉄の主要駅構内にあるATM「PatSat（パット サット）」でのお引出し手数料が「平日8時45分から18時まで」の間で無料とさせていただきます。また個人のお客さまが三菱東京UFJ銀行ATMを利用した際の、他行ATM利用手数料105円をキャッシュバック。手数料のみならず今後もネットワークの拡充など、ATMサービスの向上に努めてまいります。



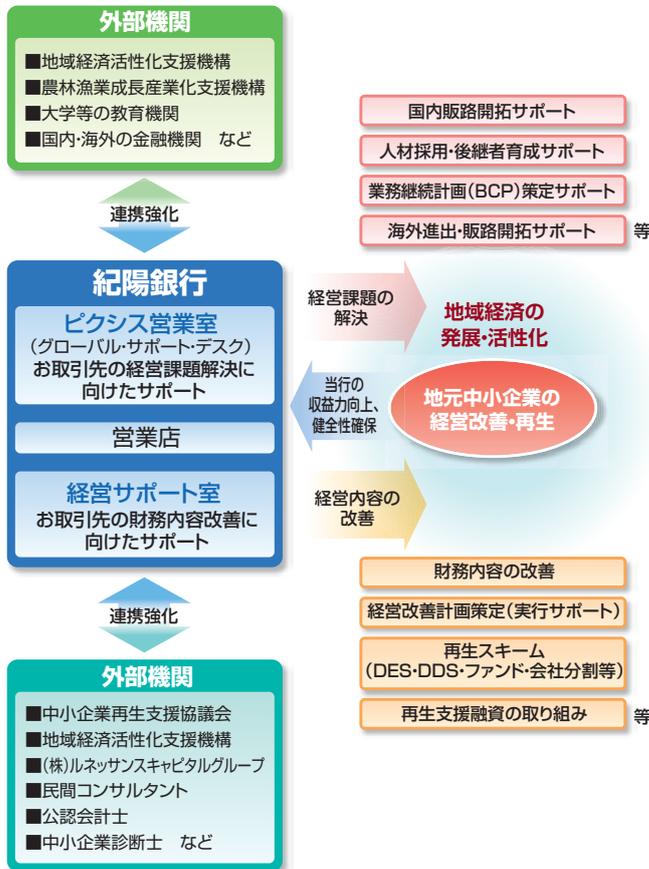
専門スタッフによるサポート

企業の課題に合わせてサポートできる態勢を充実させています。

紀陽銀行では地域密着型金融への実践的な取り組みとして、企業の経営改善計画の策定や財務内容の改善など、経営改善のサポートを中心に行う「経営サポート室」と、経営課題の解決や成長支援を通じてビジネス活動のサポートを行う「ピクシス営業室」を設置。外部専門機関との連携も含め、お客さまの課題に合わせたサービスを提供できる環境を充実させることで、地元中小企業の再生や地域の経済活性化に寄与していきます。



経営サポート室



ホームページのリニューアル

これまで以上に使いやすく、わかりやすい情報提供に努めています。

紀陽銀行ではホームページをリニューアル。インターネットバンキング等のログインボタンをトップページに配したほか、店舗ATM検索機能の充実など、これまで以上に使いやすく、わかりやすいホームページへと進化したし

ました。インターネットの普及やモバイル機器の進化に合わせて、今後もさまざまな取り組みを進めていきます。



【リニューアルのポイント】

- インターネットサービスをご利用いただくための「ログイン」ボタンをトップページに設置。
- お客さまがよくご利用いただいている項目をトップページ下部に設置。
- 店舗検索やATM検索画面の刷新し、検索機能を新設。

CS向上に向けた取り組み

CS向上を実現するための施策

一人ひとりのCS向上の意識を高めるための取り組みを実施しています。

それぞれの取り組みがしっかりと行われているかをチェックする「CS向上シート」を配布。全支店で一斉点検を行い、改善策を導入しています。

また、CS向上宣言として、全店共通の「統一宣言」と支店ごとに取り組み「私たちの宣言」を制定。ポスターとし

て掲示し、常にCS向上を意識できる環境づくりに努めています。

さらに、お客さまの課題をすばやく改善するために、各支店に一人ずつ「CSリーダー」を配置。CS向上に向けた活動のまとめ役としてその任にあたっています。

ユニバーサルサービスの向上に向けた施策

すべての人が安心して利用できる店舗づくりに取り組んでいます。

誰もが使いやすい、誰もが安心できる店舗にしたいから。紀陽銀行では、平成25年6月20日・21日の2日間にお

たり、CS担当者に向けた「紀陽銀行ユニバーサルサービス実践研修」を実施いたしました。障がい者や高齢者の人口割合などのデータをはじめ、街な

す体験など実践的な研修を行いました。

また、平成24年度の新入行員に対して、行員一人ひとりが認知症への理解を深めるため、「認知症サポーター養成講座」を実施しました。



ユニバーサルサービス実践研修

かで既に導入されているユニバーサルサービスの事例などを交えて紹介。また駐車場から出口でのお見送りまでの行程を確認するなど具体的な接客シミュレーション、視

覚障がい者体験や車いすに、平成25年7月28日に開催された、日本網膜色素変性症協会(JRPS)が主催する「アイフェスタ2013 in 和歌山」において、紀陽銀行は視覚障がい者向けの最新ATM機を体験いただけ



視覚障がい者向けのATM体験



認知症サポーター養成講座

Voice 声 担当者の



人に、地域に、やさしい銀行を目指して—— 高松中央支店 吉田 沙織

高松中央支店の最大の特徴は行員全員が女性ということ。「きめ細かい親切丁寧な対応」を念頭においた行動を心がけ、特に女性や高齢者にやさしい店づくりを目指しています。具体的には、たとえば毎回5名程度の参加者を募り、店内にて「子育てママのためのセミナー」を開催。生活設計に関するご提案をさせていただき、参加者の方々に大変喜んでいただいております。その甲斐あって、お客さまから「この店で取引したい」「ここはみんな優しく笑顔がステキね」という声をいただいております。今後もそのような声を励みにしながら「もっとこんな風にしてほしい」というご意見ご要望も真摯に受け止め、できる限りお客さまのお役に立てるよう努力していきたく思います。



地域密着型 金融推進のための 取り組み



和歌山で働く若者を増やすことも経済活性化施策のひとつになると私たちは考えます。紀陽銀行では大学生を中心とした学生向けの企業説明会やセミナー、マッチングフェアなどを実施。地元企業と学生が出会える機会を積極的につくりだし、企業の人材確保はもちろん、若者の就職支援にも貢献しています。

企業説明会を積極的に開催し、地元企業の人材確保や学生の就職支援を行っています。

学生向け企業説明会の開催

地域社会との約束

私たちは、より地域に密着した活動を推進していきます。

■平成24年度の具体的な取り組み

内容	実施時期	実績
和歌山大学		
外国人留学生対象「学内個別企業説明会」	平成24年4月	7社参加、57名面談
学内合同企業説明会	平成24年6月	7社参加、33名面談
合同企業説明会	平成24年6月	6社参加、45名面談
和歌山工業高等専門学校		
和高専合同企業説明会	平成24年12月	36社参加
大阪府立大学工業高等専門学校		
キャリア教育セミナー	平成24年12月	12社参加、154名面談
近畿大学 生物理工学部		
近畿大学 学内合同企業説明会	平成24年6月	10社参加、174名面談
近畿大学 学内合同企業説明会	平成25年2月	10社参加、156名面談
大阪府と連携		
外国人留学生ジョブマッチング	平成24年12月	4社参加
OSAKAジョブフェア(大阪最大合同企業説明会)	平成24年12月	2社参加
OSAKAジョブセレクト(理系人材合同企業説明会)	平成25年2月	19社参加

小 学生向け

地域の子どもたちとの交流

文化・教育の
取り組み

子どもたちに楽しみながら金融知識を深めてもらえる親子セミナーを開催しました。

「夏休み子ども企画 みんなでお金博士をめざそう」と題し、親子セミナーを紀陽銀行お城の前の相談室で開催。当行のファイナンシャルプランナーによる、小学生向けのわかりやすい金融セミナーを実施しました。日本の古いお札から海外のお札、ハンバーガーの値段を例にした為替変動の仕組みや、お金のワイズ大会など、子どもたちが楽しみながら金融の知識に親しんでもらえる機会となりました。





平成24年11月21日には向陽中学校の生徒8名が紀陽銀行を訪れ、本店営業部を見学したほか、銀行の仕事の仕組みややりがいなどについて、行員との質疑応答を行いました。また桐蔭中学校においては、紀陽銀行の行員が講師となって「ビジネスマナーセミナー

中 地元中学生の職場見学

学生に向けて

地域の中学校のキャリア教育をお手伝いしています。



紀陽フィナンシャルグループの女子バスケットボール部「紀陽ハートビーツ」によるバスケットボール子どもクリニックを今年も開催。地域の子どもたちとの交流を深めると同時に、地域のスポーツ振興に貢献することを目的に行われ、参加した子どもたちは選手としても心地よい汗を流しました。

女子バスケットボールチームによる子どもクリニックを開催しました。

大 大学講座の実施

学生に向けて

大学生に向けた実践的な金融講座を開講しました。

次世代の産業界を支える人材を育成することを目的に和歌山県が実施して



非営利活動法人「キャリアアファシリテーター協会」と協力し、高校生を対象とした認定講師による出張授業を行っています。

高 高校生向け金融教育の実施

校生に向けて

高校生を対象に金融教育を行う取り組みをはじめました。

「未来を担う子どもたちに働くこととお金」について学ぶ機会を提供するために、紀陽銀行では金融教育の一環として、金銭基礎教育授業「Money Connection」に協賛。すでに「Money Connection」に協賛する公認実施団体として活動している特定

「」を開催。和歌山市内の中学校のキャリア教育をお手伝いしています。

大 インターシップの受け入れ

学生に向けて

地元学生への職業意識の醸成や業務体験の提供を目的としたインターシップを実施しました。

産学連携による人材育成や地域貢献活動の一環として、今年も8月22日～25日の4日間の日程で実施。今年度は9大学33名が参加しました。当日は基本業務の説明や社会人としてのマナーについて講義を受けた後、業務体験や意見交換会なども行われ充実した内容となりました。



いる「産業人材育成事業の一環として10月18日、和歌山大学で「和歌山トップ経営論」を開講。当行の泉専務取締役が、およそ400名の大学生を前に自らの経験を踏まえ、金融業界の現状などについて語りました。



環境保全のための取り組み

紀陽コンサートの開催

恒例の「紀陽コンサート」をはじめ、芸術教育や文化振興に貢献しています。

一般財団法人紀陽文化財団では平成7年から「紀陽コンサート」を定期開催。36回目を迎えた今回は日本セン

チュリー交響楽団を招いての演奏会が開かれました。

また、和歌山県立美術館・博物館で開催される展覧会に地域の方をご招待するなど地域の芸術文化の振興に貢献しています。



「企業の森」事業への参加

日高川町「紀陽の森」での森林保全活動に当行役職員が参加しました。

エコ活動の推進・活性化

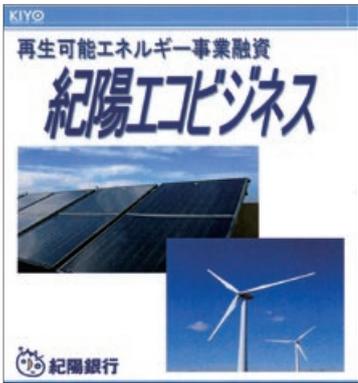
再生可能エネルギー事業融資「紀陽エコビジネス」の取扱いを開始しました。

和歌山県などと共同で「バイオマス資源活用協議会」を設立しました。



紀陽銀行は和歌山県が森林の環境保全を目的に実施している「企業の森」事業に平成18年より参加。和歌山県日高川町に「紀陽の森」として約3300本もの植樹を行ってきたほか、紀陽銀行の役職員がボランティアで下草刈り活動を行うなど、和歌山の森林保全にも尽力しています。

紀陽銀行では再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用した事業への参入を検討している事業者に対し、平成24年12月5日より「紀陽エコビジネス」の取扱いを開始。企業のエコ活動をサポートしています。



国の委託事業としてバイオマス発電とバイオコークス製造のハイブリッド方式で事業の実現性を調査中。平成24年11月に「和歌山バイオマス資源活用推進協議会」を設立、和歌山県と6市町村、民間企業9社、7つの団体が参加し、協議を進めています。

支店活動 レポート

vol. 3

わが街 わが店 わが取り組み

企業全体で取り組む大きな活動もちろん大切ですが、街ごとの特性やお客さまのニーズにあわせた各支店の取り組みも、地域のお客さまと密接に関わる地方銀行としてはとても重要です。ここでは、お客さまとの関わりに創意工夫をしている支店の活動をご紹介します。



東大阪支店
宮古 恵理

東大阪支店 東大阪支店がある地域は 地元商店街を中心に活気があふれています。

東大阪支店では、年間を通じて地域で行われているさまざまなイベントのお手伝いをさせていただくことで、地域の方々と密接なコミュニケーションを図るとともに、地域の活性化に貢献してまいりました。なかでも「七夕飾り」は地域が一体となって行うイベントのひとつで、地元の保育園・幼稚園の園児が笹に願い事を書いた短冊を飾り付けます。園児たちが自分たちの作った短冊や飾り付けを見て喜んでいたり、それを見ているご家族のうれしそうな様子を見かけたりすると、笹を設置するお手伝いをさせていただいて本当に良かったなと思えました。



イベントのお手伝い以外では、美化委員会が中心となって行員を3班に分け、店舗周辺および近隣商店街周辺の清掃を、隔週月曜日の朝に継続的に実施しています。朝、地域の方々と「おはようございます」と挨拶を交わすことは、とてもさわやかな気持ちになり、東大阪支店がこの地域に密着していることを実感します。これからも地域の活性化に貢献できるよう、いろいろな活動を続けていきたいと思えます。

新宮支店

ボランティアスタッフとしてだけでなく 行員自らが参加してイベントを盛り上げています。



新宮では年間を通じてさまざまなイベントが行われ、そのたびに私たちはボランティアスタッフとしてイベントのお手伝いをさせていただいています。とくに6月に行われる紀南地区の一大イベントである「ツールド熊野 サイクルロードレース」へのボランティア参加は15年以上も続いており、その後9月には当支店ロビーにて大会の写真展も実施しています。目の前をたくさんの自転車が一斉に走り抜ける迫力は思わず見入ってしまうほど。店頭ロビーでの写真展の際はその躍動感や感動を呼び起こしてくれるので「来年も参加しよう!」という気持ちにさせてくれます。



新宮支店
岡地 美咲

その他にも4月には「奥熊野いだ天ウルトラマラソン」、7月は「熊野速玉大社 扇立祭り」、10月には「新宮踊り」、11月は「天空マラソン」などにも参加しています。また、私たち新宮支店では「参加型の活動」を合言葉に、ボランティアスタッフとしての参加だけでなく、行員自らが地域の方々とともにイベントに参加することで、交流を深めています。



地域の特性を生かした、各営業店ごとの取り組みを紹介します。

わが街わが店のCSR活動

地域のイベントへの参加

お祭りや地域活性化イベントでのお手伝い、参加を通じて地域の方々と交流を深めています。



1.和歌浦支店(和歌祭) 2.松江支店・延時支店(淡島神社「雛流し」) 3.松江支店・西脇支店(加太「桜鯛祭り」) 4.粉河支店(白水園コンサート) 5.橋本支店(まっせ・はしもと) 6.高野山支店(ろうそく祭) 7.箕島支店(ウォーキングマップ完成記念ウォーキング大会) 8.金屋支店(かなや納涼おしゃるきまつり) 9.吉備支店(ボンデアレック) 10.湯浅支店(紀州湯浅の鯖と鮓まつり) 11.由良支店(由良ふるさとフェスティバル) 12.南部支店(みなべあきんどカーニバル) 13.御坊支店・印南出張所(印南かえるのフェスティバル) 14.田辺支店・田辺駅前支店(弁慶ゲタ踊り) 15.周参見支店(イノブータン王国建国28周年祭) 16.朝来支店(プロ野球ウエスタンリーグ野球場周辺安全業務) 17.日置支店(鮎まつり) 18.串本支店(にしき園夏祭り) 19.古座支店(夏祭り納涼盆踊り)



20.勝浦支店(まぐろ祭り) 21,22.新宮支店・本宮支店(ツール・ド・熊野) 23.岬支店・箱作支店(みさきファミリーマラソン大会) 24.泉南支店(藤まつり) 25,26.熊取支店・東貝塚支店・水間支店(ニッポンをミドリにしぼふプロジェクト) 27.泉北支店・泉大津支店(泉大津未来ビジョン商連わいわいフェスタ) 28.狭山支店(大阪狭山市産業まつり) 29.河内長野支店(河内長野ンティマラソン) 30.堺支店(堺国際ツデーマーチ) 31.東大阪支店(夏祭り「夏のタベ」) 32.高田支店(春のおかげまつり)

**店舗を
使った活動**
地域の皆さまの作品展示や、
季節の飾りつけで楽しい
お店づくりをしています。



1.六十谷支店 2.橋本彩の台支店 3.海南支店 4.白浜支店 5.太地支店 6.住吉支店 7.五条支店

清掃活動
地域の環境美化・
環境保全を目指した
取り組みを
実施しています。



1.和歌山中央支店・和歌山市役所支店 2.東和歌山支店 3.橋向支店 4.屋形支店 5.県庁支店 6.湊支店 7.松ヶ丘支店・西浜出張所 8.紀三井寺支店・内原出張所 9.紀の川支店 10.貴志川支店 11.岩出支店・紀泉台出張所・桃山出張所 12.打田支店 13.名手支店 14.妙寺支店 15.高野口支店 16.海南東支店 17.野上支店 18.加茂郷支店 19.尾崎支店 20.羽倉崎支店・日根野支店 21.鶴原支店 22.岸和田支店・東岸和田支店 23.久米田支店



24.和泉寺田支店 25.和泉中央支店
 26.泉ヶ丘支店・北野田支店
 27.深井支店 28.鳳支店
 29.中もぎ支店 30.鴻池新田支店
 31.平野支店 32.上本町支店
 33.大阪中央支店 34.大阪支店

その他
 営業店でできる
 様々なお手伝いや
 地域貢献活動を
 進めています。



1.本店営業部(献血) 2.水道路支店・宮北支店・太田出張所(交通安全運動) 3.神前支店(交通安全運動) 4.国体道路支店(献血) 5.堀止支店(献血) 6.海南駅前支店(花壇の植替え) 7.田辺駅前支店(事業所見学学習の受け入れ) 8.北花田支店(献血) 9.八尾南支店(献血) 10.大阪北支店(献血) 11.新大阪支店(献血)



正確で適切な
情報を提供する
取り組み

私たちは、責任ある企業態勢づくりに努めます。

株主さまとの約束

情報開示の充実

各種説明会やディスクロージャー誌を通じて
積極的な情報公開に努めています。

定時株主総会の開催をはじめ、投資家の皆さまに向けた説明会や経営諮問委員会などを開催。また法定ディスクロージャー誌やホームページなどを通じて、株主・投資家の皆さまに向け積極的な情報公開を図るなど、情報を共有するための継続的な取り組みを行っています。

IRカレンダー

5月	決算発表
6月	機関投資家向け決算説明会(東京) 定時株主総会 ミニ・ディスクロージャー誌発行 期末配当金支払い
7月	ディスクロージャー誌発行 地元株主向け決算説明会(和歌山、田辺、堺) 個人投資家向け決算説明会(和歌山)
8月	第1四半期決算発表 個人投資家向け決算説明会(堺)
9月	Annual Report発行
11月	第2四半期決算発表
12月	ミニ・ディスクロージャー誌発行 機関投資家向け第2四半期決算説明会(東京)
1月	中間ディスクロージャー誌発行
2月	第3四半期決算発表



会社説明会

コンプライアンス態勢について

高い倫理観と透明性に基づいた
信頼される企業活動に努めています。

紀陽銀行ではコンプライアンスプログラムを制定。態勢強化を図るとともに研修やモニタリングなどを通じて、一人

ひとりの意識向上に取り組んでいきます。また弁護士をはじめ専門知識を持った第三者委員会を設置。客観的提示を取り入れながら実効性・透明性の高い組織づくりを行っています。さらに個人情報の取扱いについてもプライバシーポリシーを定め、細心の注意を払っています。

安定的な配当の実現

新体制発足を機に、これまで以上に健全で安定的な経営を進めてまいります。

平成25年9月5日をもって公的資金を全額完済。経営の健全化がさらに進展いたしました。また平成25年10月1日より、紀陽ホールディングスと紀陽銀行が合併。紀陽ホールディングスの上場が廃止され、紀陽銀行が東京証券取引所市場第一部に上場いたしました。合併後はさらに機動力即応力を高め、安定的な配当はもとより、地域経済の発展にもさらに貢献してまいります。

従業員の
働きがいを支える
取り組み



私たちは、社員が働きやすい環境をつくりまします。

従業員との約束

紀陽銀行では、お客さまに優れたサービスを
提供するため、行員が十分力を発揮して
働けるよう、さまざまな取り組みを行っています。

キャリア支援制度の充実

「休日セミナー」の開催など、キャリアアップをサポートしています。

紀陽銀行では、充実した教育・研修制度の他、行員の自己啓発を支援するための「休日セミナー」を開催。金融や銀行業務に関するプログラムはもちろん、公的資格取得に向けた試験対策講座やマネジメントに関する講義など、

行員にとって幅広い知識とスキルが吸収できる機会となつています。また、平成25年4月には、インターネット回線を利用した自己啓発支援システム(e-Learning)を導入し、自宅でも学習できる環境を整えております。

ワーク・ライフ・バランスの実現

育児休暇など、従業員が働きやすい職場環境づくりに努めています。

行員の質の向上につながることから、仕事(ワーク)と生活(ライフ)の調和が取れたライフスタイルの実現を支援。平成20年には男性の育児参加を促進するため「配偶者出産休暇制度」を導入しました。また、平成22年には、育児休業期間を延長。「最長1年6カ月」まで取得できることとし、育児を行う女性の支援をさらに拡大しました。自己啓発支援システム(e-Learning)を

活用した育児休業取得者の職場復帰支援体制の整備にも取り組んでいます。自己啓発で積極的にスキルを向上させようとする行員や、家族と過ごす休暇を大切にする行員、地域活動への参加を重視する行員など、ライフスタイルは非常に多様化しています。これからも、仕事のやりがいや充実感を得ながら職務に励むと共に、豊かな生活を送れるよう、取り組んでまいります。

女性のキャリア支援への取り組みが評価され「和歌山労働局長優良賞」を受賞しました。

紀陽銀行が女性のキャリア支援などに取り組む「ポジティブアクション」が評価され、平成24年10月18日、厚生労働省主催による「平成24年度均等・両立推進企業表彰」における均等推進企業部門で、紀陽銀行が「和歌山労働局長優良賞」を受賞いたしました。この賞は女性が能力を発揮できる環境づくりや仕事と育児の両立を支援する取り組みについて、規範となる企業に対して贈られるもの。私たちは今後も、すべての行員が能力を発揮できる職場環境の実現を目指してまいります。





KIYO

FINANCIAL GROUP

株式会社 紀陽銀行

和歌山市本町1丁目35番地

<http://www.kiyobank.co.jp/>



このレポートには、地球環境に配慮した古紙含有率 70%の再生紙と大気汚染を抑制するノン VOC ベジタブルインクを使用しております。

※VOC…揮発性有機化合物 (Volatile Organic Compounds) の総称
2006年4月1日より、大気汚染防止法でのVOCを含む有機化合物の排出規制が始まっています。

平成25年10月発行

株式会社 紀陽銀行

経営企画部 広報・CSR推進室

〒640-8656 和歌山市本町1丁目35番地 TEL.073-426-7133